

委員の皆さま

この度は台風の影響により、検討委員会を書面開催とさせていただきますので、検討委員会で予定しておりました皆さまへのご挨拶につきまして、合わせて書面にてお送りいたします。

まずは、委員の皆さまには、検討委員会の委員にご就任いただき厚くお礼申し上げます。皆さまのお力をお借りし、委員会の活動を実のあるものにしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

本県では、リニア三重県駅を新たな玄関口として、リニア開業がもたらす効果を最大限に引き出し、その効果を県全体に波及・発展させるため、リニアとともに本県が歩む「めざす三重の姿」、また、それを実現するための取組の方向性を示すビジョンとなる「三重県リニア基本戦略」を本年3月に公表しました。

先月7月1日には、リニア三重県建設期成同盟会総会を開催し、一日も早い全線開業に向け、名古屋以西のルート・駅位置の早期確定、そして早期着工などについて、県内の関係者の思いを一つにしたところです。

こうした中、7月31日には、ルートや駅位置選定のため調査を行っている亀山市内の現場へ岸田総理が来ていただき、政府として最速2037年の全線開業に向け、リニア中央新幹線の整備が適切に進むよう支援を行うとともに、今後、整備効果が最大限発揮されるよう、駅周辺を含めたまちづくりを国として支援いただく旨述べられました。

また、リニア三重県駅候補地の亀山市の3地域でのボーリング調査も掘削を完了するなど、事業は確実に新たなステージに移行しています。

こうした状況を踏まえ、皆さまからアイデアや提案について忌憚のないご意見を賜りながら、29市町及び関係団体の皆さまとオール三重でリニア開通後の「めざす三重の姿」の実現に向けたプラン（行動計画）を2年間かけて策定していきたいと思えます。

リニア時代の「便利で暮らしやすい三重」や「訪れて心地よい三重」が実感できるプランとなるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

令和6年8月27日

みえリニア戦略プラン（仮称）検討委員会委員長
中村 元保